

2 / 27

大安 金

旬のもの サラダ菜

キク科。サラダ菜は食感が軟らかで、ほのかな甘味と香りがあり、緑の葉も鮮やかです。そのため、サラダの下敷きに使われることが多いのですが、肉の風味を損ねず、くどさを中和するので肉料理にも最適です。ビタミンAからEまでを多量に含み、レタスと比べてもカルシウム、鉄、ビタミン類などが多く含まれています。特に鉄分はホウレンソウに次いで多く、貧血に効果があります。また、サラダ菜には、血中に溶け込んで、神経の興奮を抑制する働きのあるカルシウムが含まれています。レタスの仲間には属しますが、球レタスとは違い、結球はしません。

新選組の日

1863（文久3）年のこの日、江戸幕府が武芸にすぐれた浪士を集めた武力組織「新撰組」の前身である「壬生組」が結成されました。結成当初は20人前後だった隊員数が、1865（慶応元）年の最盛期には約200人に拡大。1864年（元治元）の池田屋事件での活躍をはじめ、尊攘派に大きな打撃を与えました。

絆の日

バレンタインデーのあとホワイトデーまでの間に恋人同士の絆を深める日を設けようと、結婚カウンセラーなどが制定した記念日。絆（絆）と「きづ（2）な（7）」の語呂合わせ。

2 / 28

赤口 土

旬のもの ビスケット

ビスケットはフランス語の「biscuit」が語源です。総称してビスケット類と呼ばれる仲間には、ビスケットのほかに、クラッカー、乾パン、カットパン、プレッツェル、パイ、またはこれらの加工品があります。これらのビスケット類は、小麦粉を主原料として練った生地を成型して焼くという点が共通しています。乳製品や卵、糖類、食用油脂など使用される副原料の組み合わせは種類によってさまざま。必要に応じてチョコレートやナッツ、健康づくりのための胚芽やプロテイン、乾燥野菜、カルシウムなども使われます。

ビスケットの日

長崎に留学していた水戸藩の蘭医・柴田方庵が、オランダ人から学んだビスケットの製法を書いた手紙を、同藩の萩信之助に送った日で「方庵日記」に記録が残っています。また、ビスケットの語源がラテン語で「二度焼かれたもの」という意味があり、「に（2）どや（8）く」の語呂合わせと史実を考え合わせ、全国ビスケット協会が毎年2月28日を「ビスケットの日」としました。

バカヤローの日

1953（昭和28）年、当時の首相・吉田茂が衆議院予算委員会で、西村栄一議員からの質問に興奮するあまり「バカヤロー」と発言しました。これが元になり内閣不信任案が提出・可決され、同年3月に衆議院は解散。この出来事は「バカヤロー解散」といわれています。